



循環器科

理事 国吉 和重

2021 年 循環器生理検査件数

	心 電 図	負荷心電図	ホルター心電図	血圧脈波検査	心エコー図
1 月	207	1	1	19	19
2 月	210	0	4	23	25
3 月	273	2	3	23	25
4 月	208	3	2	20	27
5 月	245	0	2	17	21
6 月	394	1	0	15	29
7 月	278	2	2	6	22
8 月	201	1	3	10	22
9 月	206	0	2	14	25
10 月	273	0	2	15	30
11 月	230	0	3	20	22
12 月	249	0	3	18	27
合 計	2974	10	27	200	294

負荷心電図：ダブルマスター負荷心電図

麻 酔 科

理事 国吉 和重
非常勤医師 山本 真也
非常勤医師 杉本 清治

2021 年 全身麻酔症例

	気管内挿管	マ ス ク	合 計
消 化 器 外 科	33	0	33
整 形 外 科	9	3	12
泌 尿 器 科	8	0	8
合 計	50	3	53

ペインクリニック

頤・胸部硬膜外ブロック : 13
腰部硬膜外ブロック : 5
星状神経節ブロック : 7

消化器内科

院長 国吉 宣俊

消化器内科部長 岡本 博司

消化器内科年報

検 査 内 容	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
上部内視鏡	248	268	299	296	248	279	299	294	303	344	316	311	3,505
下部内視鏡	124	132	174	170	126	167	166	166	181	175	173	188	1,942
ERCP	5	1	0	3	8	2	3	5	3	6	3	1	40
上部内視鏡検査(処置目的)	3	3	3	2	3	3	4	1	4	3	3	3	35
下部内視鏡検査(処置目的)	10	6	12	12	4	11	7	10	9	9	7	9	106
EIS・EVL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
食道粘膜切除	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食道内視鏡の粘膜下層切開剥離術	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
大腸 早期大腸癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸 進行大腸癌	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
食道止血術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胃 止血術	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
胃 拡張術	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
胃 異物除去	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
PEG	1	1	0	1	2	1	1	0	1	1	1	2	12
胃 ポリペクトミー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
胃 ESD	3	1	2	1	2	0	1	1	3	1	1	0	16
EST	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸 ポリペクトミー	11	26	35	36	16	24	25	21	31	25	22	27	299
大腸 EMR	15	15	13	15	6	9	12	14	12	9	17	19	156
潰瘍性大腸炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
クローン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上部クローン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早期胃癌	3	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	10
虚血性腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性腸炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食道癌	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
進行胃癌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	425	457	540	540	417	499	521	514	549	574	543	560	6,139

【講演・座長等】

2021 6/19	第 115 回日本消化器病学会 四国支部例会	当院における高齢発症潰瘍性 大腸炎の臨床的特徴と中等症 異常に対する治療法の検討	カルポート	講演
2021 6/19	第 115 回日本消化器病学会 四国支部例会	一般演題大腸の部	カルポート	座長
2021 10/12	ネキシウム 10 周年記念 TX シンポジウム	セッション 2	ちより街 テラス	座長

整 形 外 科

整形外科部長 谷脇 祥通

【手術件数】

術 式	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1. 脊椎手術													
2. 股関節手術													
人工股関節置換術				1									1
人工骨頭置換術	1						1						2
骨折観血の手術							1						1
3. 膝関節手術													
骨折観血の手術						1							1
4. 足関節・足部手術													
関節固定術 / 形成手術								1					1
骨折観血の手術			1										1
その他									1				1
5. 肩・肘関節手術													
人工肘関節置換術													
骨折観血の手術													
その他													
6. 手外科・末梢神経手術													
関節鏡下手根管開放術	3	2	4	2	6	5	1	1	4	6	4	2	40
神経剥離 / 縫合術			1		1		1				1		4
腱鞘切開術	2	2	11	9	9	8	10	11	12	11	10	9	104
腱剥離 / 移行術 / 腱縫合	3		1	1			1	2	1	1	1	1	12
骨折観血の手術	1	3	3		4	6	2	1		4	2	7	33
靱帯縫合術		1			1					1			3
関節固定術 / 形成手術	3	1	1						2				7
人工関節置換術													
滑膜切除術					2	1							3
関節授動術	1												1
その他	4	1	1	3		1		1	1			2	14
7. 骨・軟部腫瘍手術													
軟部腫瘍切除術	1		1	2	1		1	1	2		1	2	12
骨腫瘍切除術													
合 計	20	10	24	18	24	22	18	18	23	23	19	23	242

【整形外科延べ患者数】

	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
外来	620	623	696	735	665	689	622	663	585	638	665	737	7938
入院	328	197	172	90	106	94	71	73	78	62	36	48	1355

【学会発表】

小児指節骨頸部骨折に対するキルシュナー鋼線 1 本のみの intra-focal pinning

谷脇祥通

第 110 回高知整形外科集談会@高知市（オンライン）

2021/02/27

小児指節骨頸部骨折に対する intra-focal pinning 法

谷脇祥通

第 64 回日本手外科学会学術集会@長崎市（ハイブリッド）

2021/04/22-23（オンデマンド 5/18-6/18）

高齢者の人工骨頭置換術に用いた AVANSERA ステムの短期成績

前原遼 山中紀夫 橋田敏生 出口奨 谷脇祥通 佐竹哲典

第 111 回高知整形外科集談会@高知市（オンライン）

【講演】

骨性マレット指の治療と疼痛管理

谷脇祥通

高知外傷カンファレンス@高知市（オンライン）

2021/06/04

【論文】

手根管症候群術後の神経回復過程評価における Semmes-Weinstein monofilament test と神経伝導速度検査の比較

谷脇祥通 市川和美

日本手外科学会雑誌第 37 巻 第 6 号 838-841、2021

【学会活動】

日本手外科学会代議員、カリキュラム委員

日本マイクロサージャリー学会評議員

中部日本整形外科災害外科学会評議員

緩和ケア内科

緩和ケア部長 小田 浩睦

緩和ケア病棟（2021 年 1 月～ 12 月末）

年間入院患者数	年間退棟患者数	予 定 外 入 院 数	緊急入院初期加算
121	117	36	6

退院内訳

死 亡 退 院	生 存 退 棟
79	38

生存退棟内訳	院内一般病棟	10
	院内療養病棟	5
	転院	1
	自宅 / 自宅に準ずる施設	22

外科・消化器外科

外科部長 木下 貴史

外科・消化器外科手術件数 2021. 1. 1 ～ 2021. 12. 31

術 式 名 称	件 数
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	1
肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝）	4
気管切開術	1
経皮経肝胆管ステント挿入術	1
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	9
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬化療法）を伴わない）	1
痔核手術（脱肛を含む）（血栓摘出術）	1
痔核手術（脱肛を含む）（焼灼術）	2
肛門周囲膿瘍切開術	1
鼠径ヘルニア手術	2
創傷処理（筋肉、臓器に達しない）（長径 5 cm未満）	5
創傷処理（筋肉、臓器に達する）（長径 5 cm未満）	4
胆管外瘻造設術（経皮経肝）	2
胆嚢外瘻造設術	3
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	7
肺膿瘍切開排膿術	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm以上 4 cm未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm未満）	4
皮膚腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm以上 6 cm未満）	2
皮膚切開術（長径 10 cm未満）	8
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	5
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸半側切除）	3

術 式 名 称	件 数
腹腔鏡下小腸切除術（その他）	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	1
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	2
腹腔鏡下胆嚢摘出術	17
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴うもの）	2
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	1
限局性腹腔膿瘍手術（横隔膜下膿瘍）	1
腹腔鏡下胃腸吻合術	1
腹腔鏡下肝嚢胞切開術	1
合 計	98

外科・消化器外科 入院延べ患者数	627
------------------	-----

泌 尿 器 科

泌尿器科部長 渡邊 裕修

入院件数：38例

【手術件数】

術 式	件 数
膀胱瘻造設術	1 件
経皮的腎嚢胞穿刺術	1 件
尿失禁手術（ボツリヌス毒素によるもの）	1 件
膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）	7 件
尿道狭窄内視鏡手術	1 件
精管切断、切除術（両側）	1 件
経尿道的尿管ステント留置術	1 件
末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	1 件

【検査件数】

術 式	件 数
前立腺針生検法	9 件
膀胱尿道ファイバースコピー	65 件
残尿測定検査（超音波検査によるもの）	219 件
超音波検査（断層撮影法）胸腹部・その他	167 件
尿流測定	4 件

画 像 診 断 室

放射線科画像診断室長 小松 幸久

読影数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
一 般	400	404	438	442	405	471	483	402	352	483	438	491	5209
C T	240	212	256	230	235	210	214	249	236	233	226	214	2755
M R I	66	74	81	66	71	68	64	60	51	85	65	82	833
特 殊 撮 影	36	22	25	24	21	22	26	25	19	23	24	22	289
総 数	742	712	800	762	732	771	787	736	658	824	753	809	9086

外来紹介読影数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
田 村 ク リ ニ ッ ク 科 胃 腸 科 内 科	1	4	4		3	5	2		1	3	2	2	27
松 岡 ク リ ニ ッ ク	1	2	3	3	1			3	1	1	2		17
ク リ ニ ッ ク ス グ レ ー ン ハ ウ ス	1	1	1	2	1	5		1	1	1	1	1	16
帯 屋 町 ハ ー ト ク リ ニ ッ ク							1			2			3
くすのせクリニック 内 科 ・ 神 経 内 科									1	1			2
藤 田 ク リ ニ ッ ク					2								2
藤 戸 病 院								1					1
うぐるす内科クリニック			1										1
高 知 記 念 病 院										1			1
総 数	3	7	9	5	7	10	3	5	4	9	5	3	70

看 護 部

看護部長 森田 智子

2021年 看護職員の採用者数と退職者数（人）

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
入職	看	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	准	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	補助	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	4
退職	看	0	1	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	6
	准	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	補助	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	5

看護部委員会活動報告（2021年度）

1. 看護教育委員会

委員長：川田美佐 副委員長：松田恭子・大谷貴三江

目標：1. 専門職として求められる看護に対応できる知識・技術の強化

2. JNA ラダーを組み込んだ当院のラダーの構築

具体策：1) 院内研修計画の立案

・救急対応（急変時の対応・AED/BLS） ・症例検討会

2) 院外研修の活用

・新人教育 ・ジェネラリスト教育 ・管理者教育 ・皮膚排泄ケア 等

3) 部署での OJT (On-the-job training) を実施

・部署毎の特性に合わせた教育 ・新人教育 ・中途採用者教育

・看護補助者教育

4) e ラーニングの活用

- ・看護部全体での教育計画として活用する
- ・部署単位で特殊性に応じた教育計画として活用する

5) ラダーワーキンググループを再開する

評価： COVID-19 の影響で今年度も集合研修はできなかったが、前年 10 月より導入した e ラーニングの活用と定着ができています。看護部全体の計画と各部署の特性に応じた計画で課題テーマを設定し活用している。各部署の教育委員の働きかけもあり 90%前後の高視聴率となっている。

次年度は COVID-19 対応の動向をみながら、集合研修の実施を検討しなければならない。院外研修は新人看護師研修も含めて高知県看護協会の研修を活用した。次年度も高知県看護協会の研修を活用していく。

当院のラダーの構築は途中になっているので次年度には完成させたい。

2. 看護記録委員会

委員長：小田真美 副委員長：戸梶雪加

目標：患者の状態・看護ケアが見える看護記録を目指す

具体策：1) 形式監査の出来てない（×）について、前年度より減少を目指し監査の継続とフィードバックの強化

2) 各部署の OJT で勉強会を実施する 1 回／年

3) 記録委員のスキルアップとして、委員会メンバーによる、ゴードン機能的健康パターン 11 領域の基本的看護要素についての勉強会実施 3 回／年

4) 事例検討会 1 例／年（委員会内）

評価：形式監査については（×）の総数 83 件（前年度 101 件）と前年度よりは減少したが、同じ項目の指摘も多い。今後も部署での啓発による意識付けが必要。

勉強会に関しては COVID-19 の影響もあり、十分な委員会開催が出来なかった。オンライン研修への参加はでき、部署内で伝達講習を行うことができた。今年度は病院機能評価受審もあり、マニュアル改訂などを中心に活動した。

3. 医療安全リンクナース会

委員長：森岡佐知 副委員長：近澤千恵

目標：1. 医療安全に対して危機意識を持ち看護部全体で安全な看護の実践ができる

具体策：1) 5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の徹底・強化

2) 声だし、指さし、ダブルチェックの徹底

3) インシデント・アクシデントの分析を各部署で取り組む

4) リスクに対して危機意識がもてるよう啓発する

評価：2021年度のインシデントは410件、アクシデントは6件であった。インシデントの内容としては、転倒・転落を除き、与薬に関するもの6.3%、チューブ管理5.4%、処方箋監査ミス4.4%などであった。要因としては、確認不足や思い込み、ダブルチェックを怠ったなどがある。ダブルチェックについては、行っているが有効なダブルチェックが行えてないと分析する。また、チューブ管理では患者の不隠によるものが多いが、体位変換時やおむつ交換時等のケアの際にもチューブの事故抜去が発生している。マニュアルの遵守や確認作業を確実に行うことで防げるインシデントが多く、今後の医療安全活動において強化していきたいと考える。

リンクナース会の活動としては、看護部のインシデント・アクシデントの分析を行い、情報共有し対策等を各部署にフィードバックしている。また、医療安全情報等を活用しリスクへの意識付けを行っている。今後も現在の活動を継続していくが、転倒・転落のインシデントを減少させるために、患者のアセスメントをしっかり行うことにも力を入れていきたい。次年度は、確認不足によるインシデントを低減させるために、有効なダブルチェックの指導、指差し声だし確認の徹底を行う。

4. 感染管理リンクナース会

委員長：森あゆみ 副委員長：吉村美千代

目標：1. 標準予防策と経路別予防策の周知徹底を図る

2. 各部署での感染対策に対する意識レベルと理解の向上に努める

具体策：1) 委員会での研修開催

院内感染対策に関する勉強会の実施（毎月輪番制で行う）

2) 手指衛生の強化

リンクナースによる各部署へのラウンドで手指衛生に関する監査を行い指導、改善を行う

3) 感染対策看護部手順の見直し、改訂を行う

看護部マニュアル、AMR 作成着手

4) 合同カンファレンスや研修の参加と院内伝達

評価 : 委員会内で勉強会を実施することにより、各自の感染に対する知識を身に付ける動機づけはできたと評価する。手指衛生に関しては、合同カンファレンスでのデータより使用率は高いとの評価はされているが、更なる強化に取り組む必要がある。COVID-19 という新型の感染症が発生したことより、感染対策への意識は高まっており、早期対応の重要性を認識し行動出来ていることが院内感染やクラスターの発生の抑制につながっていると評価する。

5. 褥瘡対策委員会

委員長：岡本医師 副委員長：大谷貴三江

目標 : 1. 適切な褥瘡の予防的介入により褥瘡防止を図る
2. 褥瘡発生時適切なケアの実践により早期治癒を図る

具体策 : 1) 日常生活自立度判定→ランク B・C (褥瘡リスク有) →ブレーデンスケール
2) 体圧管理→患者の状態に合わせた体圧分散寝具の選択、ポジショニングクッションの活用
3) 外力 (圧力・摩擦・ずれ・湿潤) の解除→体位変換・清潔ケアなど
4) 栄養管理
5) 適切な褥瘡の評価と治療の実施
6) 褥瘡経過評価→DESIGIN-R2020
7) 多職種と協働し最良のケアの実施

評価 : 新規褥瘡発生率は(当該月の新規発生患者数/当該月の実入院患者数) × 100 とし、前年度とは計算式を変更した。

結果、A ステーションが 0.39%、B ステーションが 7.4%、緩和ケア病棟が 3.0%であった。B ステーションは医療療養病棟であり最も発生率が高かった。長期療養で寝たきりの患者が殆どであり、栄養状態の悪化や予防対策の不十分が理由と考えられる。褥瘡対策委員会

で褥瘡保有者を個々にカンファレンスをすることで多職種の専門性を活かした検討ができるようになった。今後も褥瘡予防に対する知識・技術を向上させる取り組みを継続する必要がある。

6. 看護師負担軽減検討委員会

委員長：中山亜希 副委員長：西村直子

目標 ：1. 看護業務基準手順の見直し改訂を行う
 2. クラーク業務マニュアルの見直し改訂を行う

具体策：1) 「部署共通マニュアル」と「部署別マニュアル」に分けて整理し、
 分かりやすい・見やすいマニュアルに整理する
 2) 各部署のクラーク業務の実際を見直し、改訂につなげる。

評価 ：「看護業務基準・手順」および「クラーク業務マニュアル」の改訂は完了した。今年度は病院機能評価受審に向けてマニュアル整備が委員会活動の中心となった。看護マニュアル関連でも大きな指摘事項はなく、病院機能評価認定につながった。クラーク業務内容の見直しにより、マニュアル改訂が完了した。

今年度より病院の委員会として、組織横断的な活動ができる体制とした。

7. プリセプター委員会

委員長：清水梢 副委員長：松田恭子

目標 ：新人看護師を職場全体で見守り、早期に職場に適応できるようサポートする

具体策：

1. プリセプター委員会で新人の成長と適応状況を評価し支援方法について検討する
 - 1) 個人目標シートを活用し職場への適応状況を評価する
 - 2) プリセプター委員会での提案や助言を参考にしながら新人看護師の教育を行う
 - 3) 基本的看護技術・診療科別看護技術の習得への支援を行う
2. 自部署全体で新人看護師を支援する
 - 1) チーム間で情報を共有し、全員で教育するよう働きかける
3. 中途採用者のテクニカルチェック運用基準・手順を作成する

評価：新採用看護師（中途採用者）の離職が1名で、退職理由は自己都合であった。

今年度は1名の新卒新人看護師が1年間で夜勤に入ることができるまでの到達度に至らなかった。これは、入職後の家庭環境の変化で本人の負担が増大したことも一要因と考える。今後も新人個々の状況に合わせて育成していく。

個人目標振り返りシートを改訂したことで、新採用看護師の達成状況や課題が可視化され他部署の委員も把握しやすいものになった。また、プリセプターへのアンケートでは、役割を通して自身の知識・技術の向上のために学習をしたり、教えることの難しさを実感したり、相手を思いやったりしながら、自ら成長の機会にしていることがうかがえた。

8. クリニカルパス委員会

委員長：門脇葵 副委員長：清水梢

目標：1. 医療・看護の質の標準化・看護記録の効率化を図る

具体策：1) パスの改訂・見直し

2) 医療用パスの電子化

3) 新たなパスの作成 2件／年

4) 年間パスの使用率 100%

評価：既存のパス全てを見直し・改定した。

新たに大腿骨頸部骨折のパスを作成することができたが、病院機能評価受審に向けバリエーション基準の作成を優先したため電子化を進めることができなかった。

現在P-生検・経尿道的膀胱腫瘍切除術・2泊3日化学療法を作成中であるが、COVID-19により委員会を開催できず未完成であるため、次年度の継続課題とする。

パスの使用率は100%であった。

9. 看護補助者会

委員長：戸梶雪加 副委員長：井上健司

目標：1. 看護師と協働し、安心・安全な介護の提供

具体策：1) 看護補助者の役割、業務の明確化

2) コミュニケーションエラーによるインシデント「0」を目指す

3) 知識・技術の向上

評価 : 具体策 1) に対しては、12 月の病院機能評価受審までには業務基準・手順の見直し・改定を実施できた。達成率 100%

具体策 2) に対しては、情報共有不足によるインシデントは「0」であった。

各部署とも看護師との報・連・相を円滑に行うために情報共有板等を用いて工夫できたが、転出・転入時の物品管理の面で情報共有の認識の違いもあり、インシデントにつながる可能性があった。補助者会で、物品管理の情報共有について話し合いを行った結果、その後は問題なく業務ができている。達成率 83.6%

具体策 3) に対しては、研修参加は e ラーニングの視聴が主となっており、課題テーマの受講期間内には視聴できているが、それが確実に実践につながっているかは不明であるが、今後活かしていきたい。院外研修は COVID-19 のため参加できなかった。

接遇に関しては、多忙などで言葉づかいなど対応に注意しなければいけないところがあった。今後は、常に平常心を心がけ、丁寧に対応していきたい。次年度は接遇などの研修にも参加していきたい。

放射線科 ～2021年・業務報告～

科長 岡崎 美紀

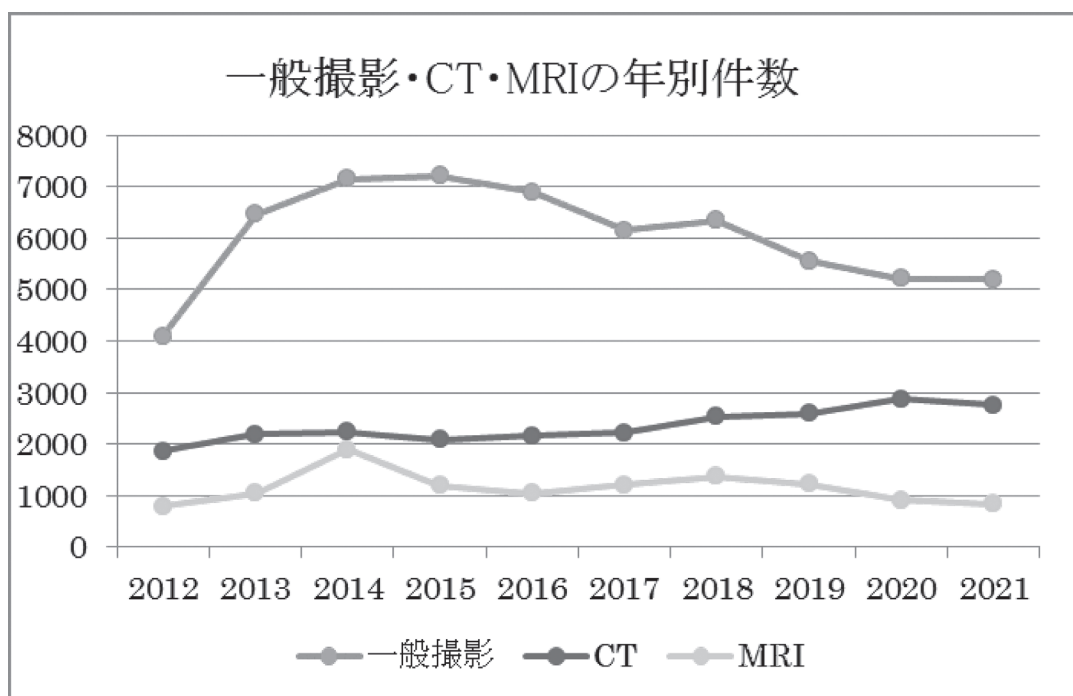
2021年度も、装置の更新はありませんでした。装置7台の保守点検、放射線科による日常点検をしっかりと行い、設備の保守状況等を確認しました。

放射線被曝防護については、防護用具の点検、必要時の着用を推奨し、放射線防護や放射線被曝の低減に努めました。感染対策も徹底し、安全な検査を実施しました。

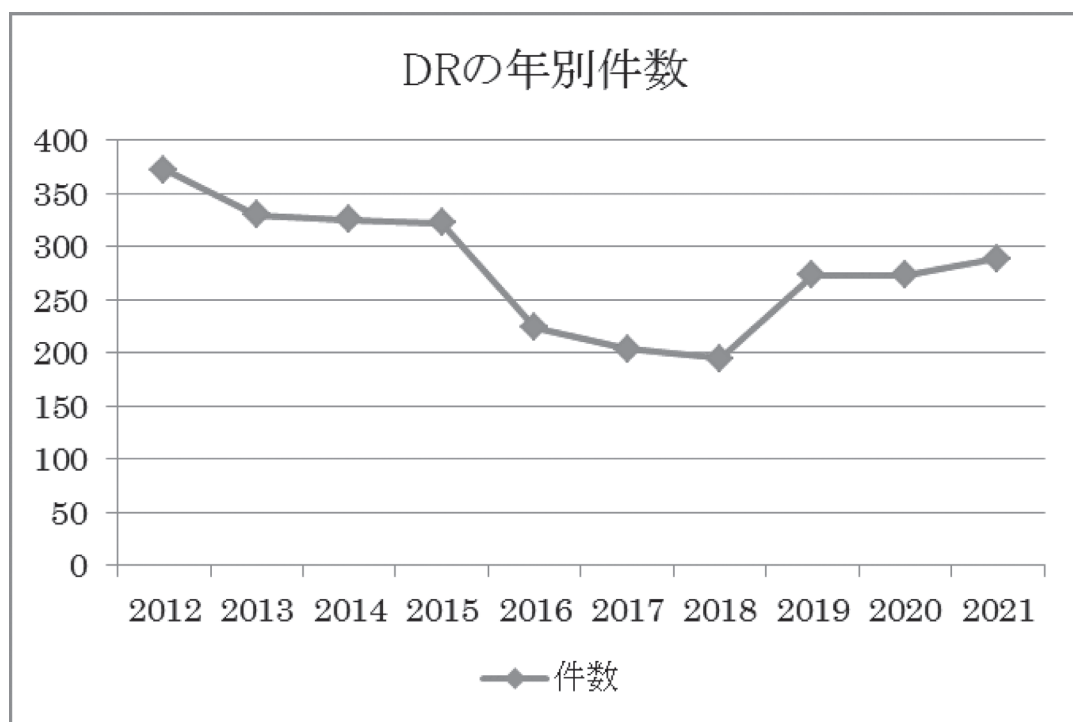
1. 年別撮影件数の推移

1) 一般撮影・CT・MRIの年別撮影件数

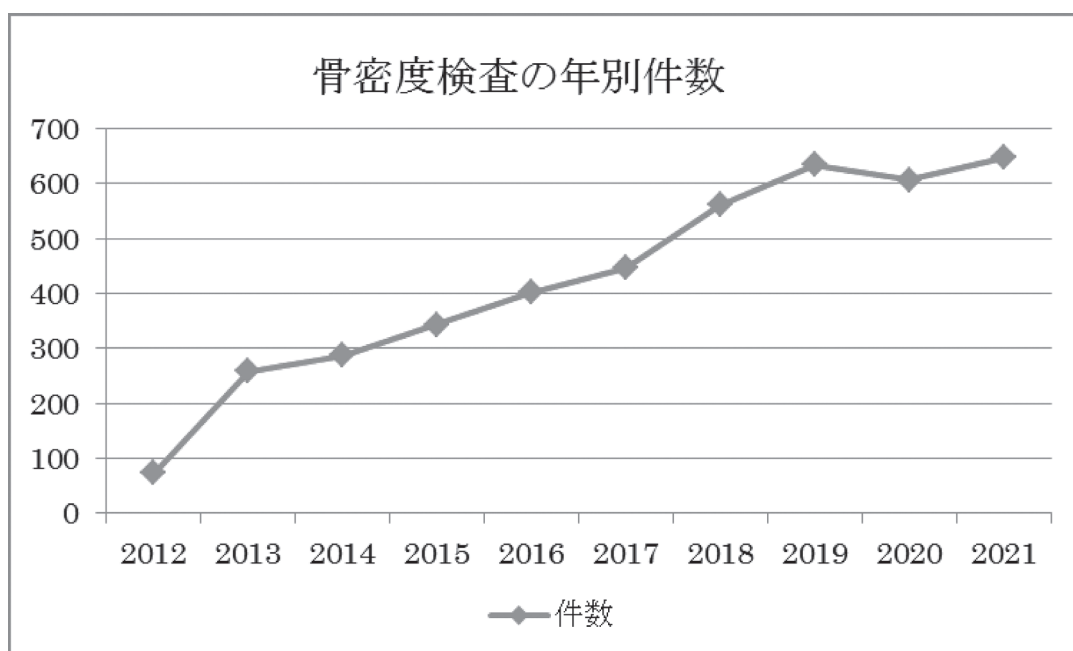
撮影件数は、前年と比較してほぼ横這いであった。



2) DR の年度別撮影件数



3) 骨密度検査数（2013 より本格稼働）（2017 年 8 月～、腰椎・股関節部位での検査が主になった）



2. 外部被曝線量測定結果

放射性物質による内部・外部被曝はなく、業務以外の無駄な被曝もなかった。

年間被曝量の0.3mSv以上は2名であった。今後も継続して、被曝の低減に努めたい。

	A Dr.	B Dr.
2021年合計	0.3	0.3

表1. 年間外部被ばく線量 (0.3mSv以上)

(単位=mSv)

3. まとめと今後の課題

各モダリティでの撮影技術をディスカッションして、良質な画像を提供できたと思います。装置の経年劣化や不具合に目を配り、機器やシステムの導入を検討し、さらなる良質な画像の提供に努めたいと考えています。今後も、機器の安全管理や感染対策に取り組み、医師、看護師と連携し、安心、安全な検査を行えるよう日々努めてまいります。

薬 剤 科

科長 中島 浩喜

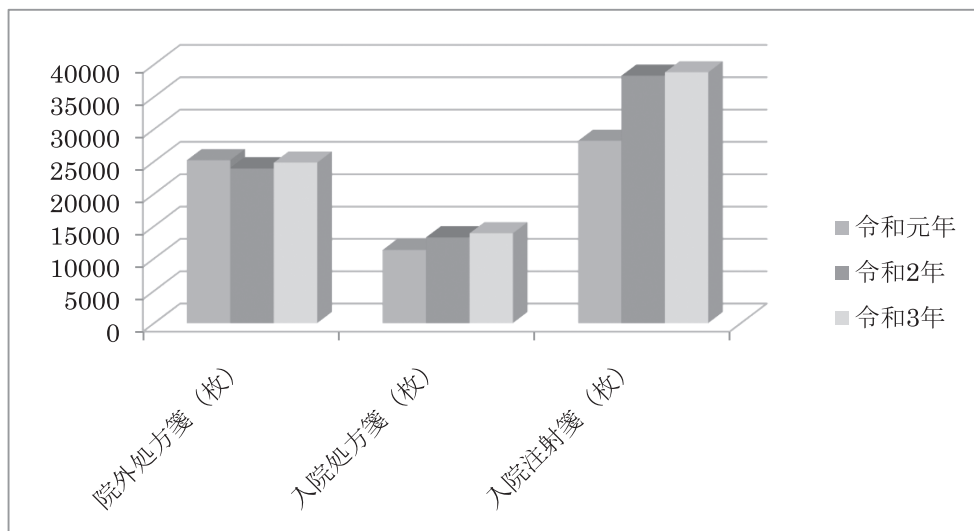
薬剤科としては3年前から薬剤師が大幅な人員減となり、令和4年5月現在常勤薬剤師3名、パート薬剤師1名、薬剤助手4名の計8名の勤務となっております。

主な業務は入院患者様の点滴・内服調剤、外来患者様のケモ調剤、平成24年からは病棟薬剤業務を開始しました。

コロナ渦ではありますが、薬剤管理、服薬指導の質を高めるため、WEBをメインに院内外勉強会に参加し情報収集と知識の向上に努めております。

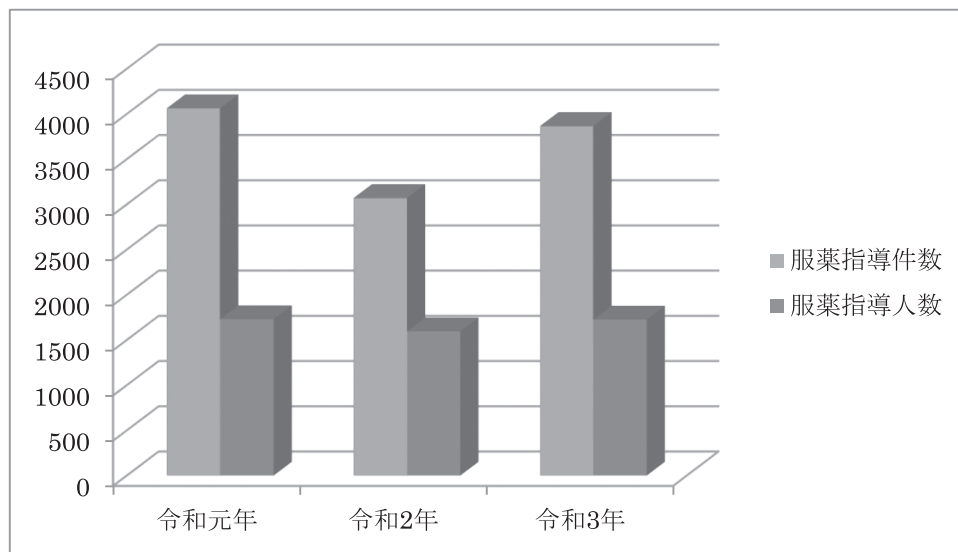
★入院・外来処方箋枚数の推移

	院外処方箋 (枚)	入院処方箋 (枚)	入院注射箋 (枚)
令和 元 年	25204	11330	28205
令和 2 年	23947	13285	38272
令和 3 年	24844	13914	38800



★薬剤管理指導件数・人数の推移

	服薬指導件数	服薬指導人数
令和元年	4064	1730
令和2年	3071	1597
令和3年	3868	1726

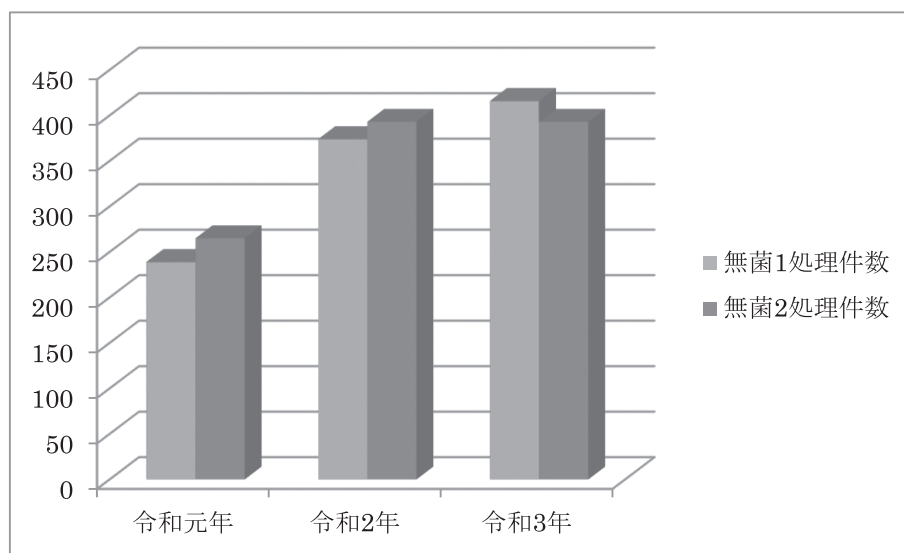


★薬剤管理指導加算内識別件数の推移

	加算1 ハイリスク薬	加算2 ハイリスク薬以外	退院時指導加算	麻薬指導加算
令和元年	1981	1630	864	48
令和2年	1494	1152	425	48
令和3年	1678	1304	434	51

★無菌製剤処理加算1・2の件数の推移

	無菌1 処理件数	無菌2 処理件数
令和元年	239	265
令和2年	374	393
令和3年	416	393



★病棟薬剤業務実施加算件数と実施平均時間の推移

	件数（件）	実施平均時間 A 病棟 （時間） / 週	実施平均時間 B 病棟 （時間） / 週
令和 元 年	3057	22. 82	21. 36
令和 2 年	2987	23. 35	21. 21
令和 3 年	3416	23. 03	21. 56

栄 養 科

科長 二宮 利江

栄養科では、医師の指示のもと入院・外来栄養食事指導を行っています。

年間の指導件数を昨年と比較すると、入院と外来を合わせた指導件数は4件減少、指導件数で最も多い疾患は昨年と同じく糖尿病でした。

糖尿病の治療には、運動療法、薬物療法と合わせて食事療法が必要です。食事療法が必要な患者様に継続した指導ができるように今後も取り組んでいきたいと思いをします。

また、化学療法のために外来通院をされている患者様にも管理栄養士より食事の摂取量、味覚の変化などについて確認をさせていただき、できるだけお食事を摂っていただくための工夫などについてご説明させていただいています。

1. 2021年 栄養指導件数

	外 来	入 院	合 計
1月	55	48	103
2月	45	52	97
3月	56	53	109
4月	52	46	98
5月	47	43	90
6月	47	43	90
7月	36	46	82
8月	59	30	89
9月	42	30	72
10月	39	31	70
11月	28	29	57
12月	17	12	29
合 計	523	463	986

2. 2021年 特別食別栄養指導件数

	外 来	入 院	合 計
糖 尿 病 食	245	89	334
心 臓 食	65	127	192
腎 臓 食	46	36	82
脂質異常症食	40	23	63
潰 瘍 食	0	27	27
肝 臓 食	0	10	10
膵 臓 食	3	34	37
低 残 渣 食	23	18	41
胃 切 食	1	10	11
肝 不 全 食	0	15	15
そ の 他	100	74	174
合 計	523	463	986

●外来栄養指導について

所要時間：1回 20 ～ 30 分程度

内容：①ご家庭での食事内容等についての聞き取り。

②問題点を見つける。

③取り組んでいただく内容について確認。

※基本的に外来受診時に予約をしていただいて、次回の受診時に栄養指導をさせていただきます。

※1ヶ月に1回の頻度で栄養指導が実施できます。

臨床検査科

科長 池澤 知佐

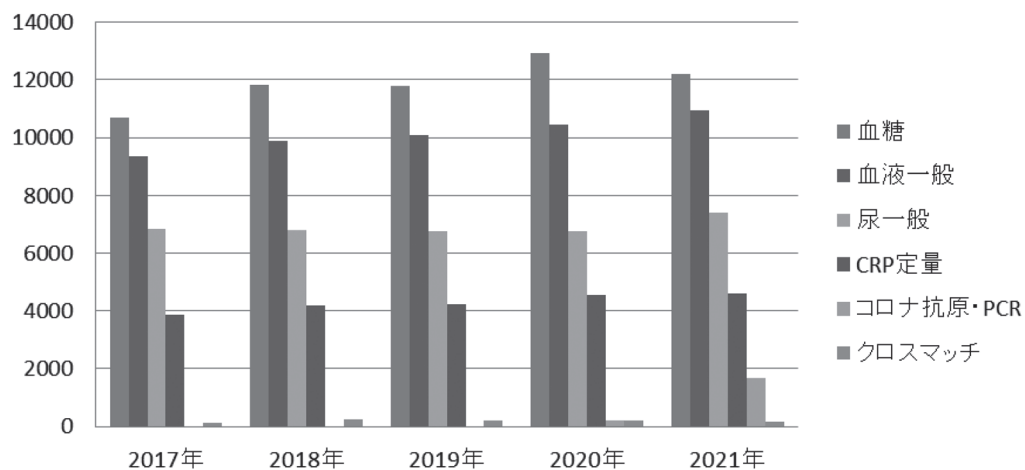
院内感染対策として、患者様ごとの生理検査前後の環境のアルコール清拭を含め徹底した感染対策に取り組んでまいりました。感染症外来だけでなく、後半より入院時のコロナ抗原検査も開始となり抗原・PCR検査共に激増しています。感染症外来に隣接する専用の検査室での検査となるため技師の移動も多くルーチン検査と平行しての検査は多忙を極めています。県内の2施設の院内感染対策合同カンファレンスに参加して、施設間での対策や最新の情報などを共有、検出される細菌の比較なども含めて参考にさせてもらい、院内で共有しています。

2021年は検査の総数は新型コロナ禍以前より検体検査数は増加しています。

各分野での院内最多項目

	血 糖	血液一般	尿一般	CRP 定量	コロナ抗原・PCR	クロスマッチ
2017 年	10706	9339	6849	3871		133
2018 年	11850	9891	6812	4195		233
2019 年	11811	10072	6735	4214		198
2020 年	12940	10467	6743	4539	211	199
2021 年	12183	10923	7391	4598	1656	199

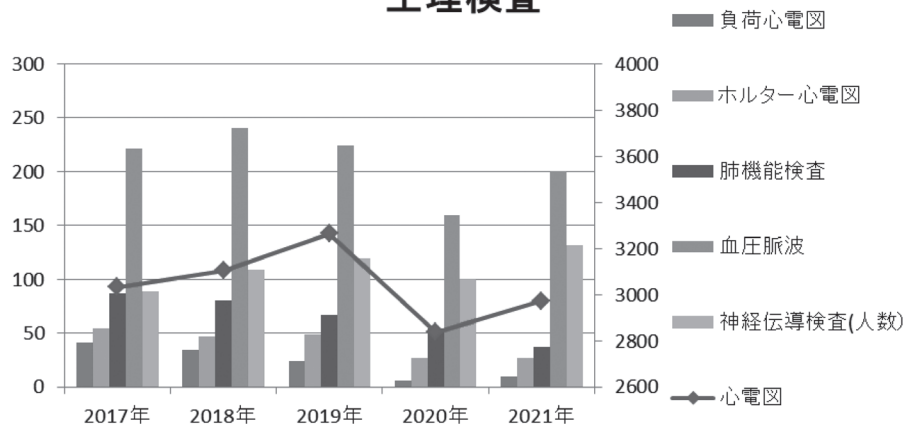
検体検査



生理検査

	心 電 図	負 荷 心 電 図	ホルター心 電 図	肺 機 能 検 査	血圧脈波	睡眠時無呼吸検査	神経伝導検査(人数)
2017 年	3032	41	54	87	221	8	89
2018 年	3015	34	47	80	240	5	109
2019 年	3264	24	49	67	224	15	119
2020 年	2838	6	27	54	159	10	100
2021 年	2974	10	27	37	200	12	132

生理検査



2021年 研修会参加実績

2021/2/18	令和2年度第4回高知医療センター感染防止対策合同カンファレンス	Web 会議
2021/2/26	令和2年度第4回高知赤十字病院感染管理合同カンファレンス	Web 会議
2021/5/20	令和3年度第1回高知医療センター感染防止対策合同カンファレンス	Web 会議
2021/5/28	令和3年度第1回高知赤十字病院感染管理合同カンファレンス	Web 会議
2021/8/19	令和3年度第2回高知医療センター感染防止対策合同カンファレンス	Web 会議
2021/9/3	令和3年度第2回高知赤十字病院感染管理合同カンファレンス	Web 会議
2021/11/18	令和3年度3回高知医療センター感染防止対策合同カンファレンス	Web 会議
2020/12/3	令和3年度第2回高知赤十字病院感染管理合同カンファレンス	Web 会議

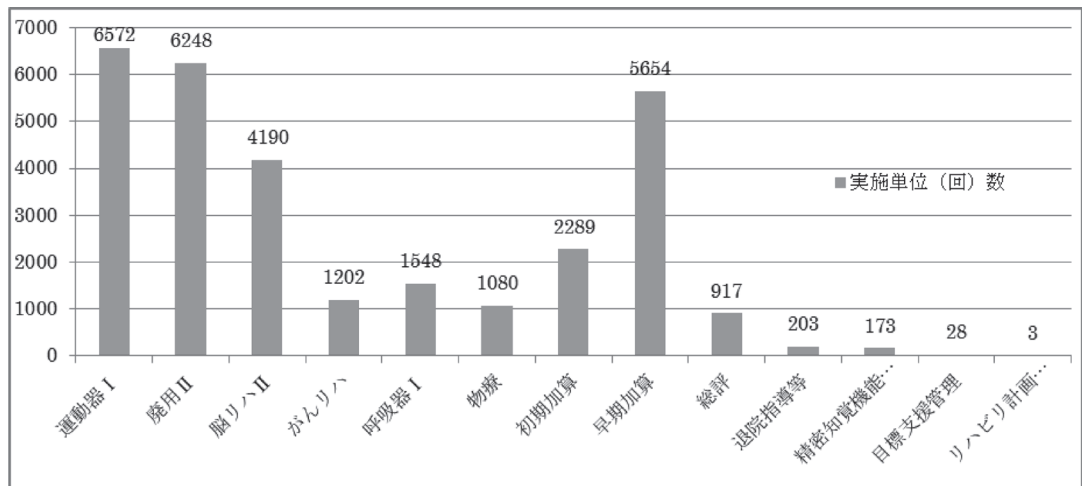
リハビリテーション科

科長 前野 加奈恵

令和3年もコロナ感染対策を緩めることができない一年でした。スポーツやサークル活動など交流の場や体を動かす機会を制限され、体力・気力の低下を感じられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

入院生活では、ベッドで横になっている時間も長く他人と交流することもほとんどありません。入院生活が長引くことにより、コロナ自粛生活と同様に体力・気力が低下し二次的に廃用状態を招く危険があります。病状が安定し医師より退院の許可が出れば、できるだけ早く元の生活の場へ戻っていただけるよう、ご本人・家族さまと一緒にスタッフ全員で尽力していきたいと思ひます。

1. 令和3年リハビリテーション実施報告



2. 令和3年リハビリ介入前後の Barthel Index (B. I.) 平均値変化

	自宅退院	施設退院	転 院
リハビリ介入時	56.0	30.6	27.1
リハビリ終了時	77.6	41.9	40.8

/100 点

3. 令和３年リハビリテーション対象者の動向

自宅退院	施設退院	転 院	緩和ケア	終 了	そ の 他	継 続 中
49%	6%	6%	1%	6%	13%	18%

地域医療連携室

課長 今西 邦之

2021 年もコロナウイルス感染拡大により、行事などが自粛、中止を余儀なくされた。状況は緩和されつつあるが、先行きが未だ見えない状況に皆が不安を抱えている。

昨年の実績は下記の通りである。ここ数年は一定数を維持しており、現在のスタッフ数を考えると今後はこの数を維持していくのではないかと考える。

高齢化が進む中、相談専門職として支援を必要とする様々な方への相談支援に一層取り組んでいきたい。

対応実人数

	2018年	2019年	2020年	2021年
外来患者	1,785	1,947	1,981	2,109
入院患者	4,382	3,915	4,201	3,708
合 計	6,167	5,862	6,182	5,817

対応方法

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
面接	3,123	2,996	3,239	3,003
電話・FAX・文書	4,554	4,403	4,572	4,375
協議・報告 (カンファレンス)	1,678	1,536	1,465	1,609
訪問	39	23	15	31
同行・代行	170	185	219	195
その他	15	19	8	7
合 計	9,579	9,162	9,518	9,220

相談内容

		2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
療 養 支 援	入転院相談	573	700	617	601
	入院案内	1,004	800	862	851
	受診・受療	550	627	783	899
	経済的問題	151	115	93	55
	受容・傾聴	146	137	86	85
	理解促進	423	316	369	436
	心理・社会的問題	261	417	527	485
	情報収集・情報提供	2,103	1,982	1,956	1,836
退 院 支 援	方向付け	231	212	219	187
	施設入所調整	257	213	296	185
	在宅退院調整	921	702	805	828
	転院調整	138	237	195	171
	社会復帰支援	1	4	1	0
制 度 活 用	高齢者福祉（介護保険）	1,481	1,195	1,150	1,211
	障害者福祉	65	60	45	50
	生活保護	200	160	117	130
	医療保険	137	145	146	109
	難病	18	28	25	20
	肝炎治療関係	12	13	1	8
	権利擁護（成年後見等）	19	12	19	6
	その他	2	6	2	3
そ の 他	セカンドオピニオン	7	1	3	4
	がん相談	737	564	579	739
	苦情	2	2	6	5
	他院受診予約調整	167	200	228	251
合 計（件）		9,606	8,848	9,130	9,155

関係機関紹介入院件数（地域医療連携室対応分）

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年
高知赤十字病院	44	59	27	36
高知大学医学部附属病院	21	27	27	22
高知医療センター	35	26	30	21
近森病院	27	28	35	36
国立高知病院	20	22	16	12
その他医療機関	64	74	66	58
合 計	211	236	201	185

かみまち指定居宅介護支援事業所

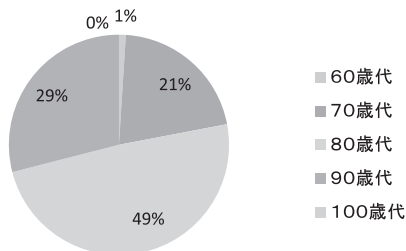
介護支援専門員 森本 都子
長野 真紀

令和3年業務報告

かみまち指定居宅介護支援事業所利用者（実動）数及び介護度区分

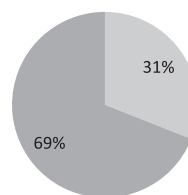
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	集計
利用者数	37	37	37	34	32	34	33	32	34	35	35	37	417
要介護1	18	18	17	16	16	15	15	14	14	16	15	16	190
要介護2	14	12	11	9	8	10	9	9	9	8	9	10	118
要介護3	3	4	5	5	5	6	6	5	7	7	6	7	66
要介護4	2	3	4	4	3	3	3	3	3	3	4	4	39
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4

年齢別



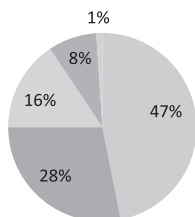
男女比率

■ 男性 ■ 女性



介護度別年間平均率

■ 介護1 ■ 介護2 ■ 介護3 ■ 介護4 ■ 介護5



訪問看護ステーション くによし

所長 今井 美穂

訪問看護ステーション くによし 年報

		合計	R3 01	R3 02	R3 03	R3 04	R3 05	R3 06	R3 07	R3 08	R3 09	R3 10	R3 11	R3 12
訪問看護 (延べ回数)	計	1619	119	113	134	134	143	153	124	127	143	137	139	153
	男	267	19	13	20	26	25	20	19	23	27	21	21	33
	女	1352	100	100	114	108	118	133	105	104	116	116	118	120
要支援 1	計	62	8	10	14	10	6	2	2	2	2	2	2	2
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	62	8	10	14	10	6	2	2	2	2	2	2	2
要支援 2	計	199	18	7	10	12	8	8	10	14	20	21	20	19
	男	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	199	6	7	10	12	8	8	10	14	20	21	20	19
要介護 1	計	674	47	45	51	60	68	76	52	52	54	52	49	68
	男	252	15	13	17	23	25	20	19	23	22	21	21	33
	女	422	32	32	34	37	43	56	33	29	32	31	28	35
要介護 2	計	534	41	34	37	39	43	41	43	42	55	54	55	50
	男	5	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	529	37	34	37	38	43	41	43	42	55	54	55	50
要介護 3	計	106	0	1	7	7	11	16	8	9	13	9	12	13
	男	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
	女	101	0	1	7	7	11	16	8	9	8	9	12	13
要介護 4	計	44	4	5	3	2	0	2	4	5	4	4	5	6
	男	5	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	39	4	5	0	0	0	2	4	5	4	4	5	6
要介護 5	計	0	0	0	0	0	0	0	9	7	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療保険 (延べ回数)	計	1018	67	55	76	97	50	96	130	131	87	80	60	89
	男	349	33	23	24	28	15	29	43	41	30	23	25	35
	女	669	34	32	52	69	35	67	87	90	57	57	35	54

診療情報管理委員会

診療情報管理委員会 藤田 匡自

昨年コロナ禍の影響で外来患者数は3000人ほど減少していましたが、新たな診療科の患者数が増加したこともあり全体数としてはコロナ禍以前よりも増加していました。紹介受患者数も2020年、2021年と約1割ずつ増加、入院患者は43%が他院からの紹介歴があります。このことは医療機関・施設間等の地域連携が確固となり、当院が目指す「患者様に質の高い医療を提供し続ける」ことに寄与できているのではないかと思います。また、2021入院患者の7%が救急車搬送によるもの、全体の20%が救急医療入院に該当する状態の患者様を受け入れる等、より一層感染対策が重要視されている世情にもかかわらず、病院職員が一丸となり地域の救急医療にも貢献していると評価される値であるように思われました。

今後、入院基本料に関わる看護必要度の評価票をⅡに変更することにより、病棟職員のカルテ入力作業を軽減して患者様への治療・看護に専念できるよう、管理士として看護必要度の適正な評価の支援に取り組んで参ります。

2012年～2021年 外来延べ患者推移 診療科別（併診等含む）

診療科	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
消化器内科	16,709	16,784	17,296	16,610	16,712	16,033	18,428	20,589	18,516	20,061
循環器内科	8,359	8,178	7,940	8,264	8,967	9,267	10,640	11,366	10,671	11,468
整形外科	667	2,725	5,919	8,587	9,821	8,757	9,152	8,966	7,826	7,938
泌尿器科	0	0	5	0	0	0	0	0	1,121	3,374
消化器外科	4,109	3,596	3,764	3,370	3,300	2,227	2,316	1,205	768	746
緩和ケア内科	1,204	1,116	1,276	1,297	1,050	1,191	735	185	265	236
外科	286	494	522	627	994	1,063	247	146	138	118
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	64	94	74
神経内科	1,640	1,795	1,792	1,964	1,657	1,423	1,779	1,557	1,189	1,507

診 療 科	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
内 科	143	111	1	0	46	81	0	0	402	644
内科・ペイン科	0	0	0	0	141	1,615	1	0	0	0
脳 神 経 外 科	796	881	1,534	1,013	582	573	573	547	532	405
心臓血管外科	166	246	301	384	423	451	439	389	346	391
心 療 内 科	271	343	351	363	406	345	341	400	330	344
リ ウ マ チ 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	297
眼 科	210	248	228	211	202	196	161	132	109	104
呼 吸 器 内 科	1,010	881	808	697	348	48	0	0	0	0
検 診 等	1,033	985	1,025	1,018	848	901	847	1,013	1,051	935
合 計	36,603	38,383	42,762	44,405	45,497	44,171	45,659	46,559	43,358	48,650

2021 年 外来延べ患者 診療科別

	消化器内科	循環器内科	整形外科	泌尿器科	神経内科	消化器外科	他
患者割合	41%	24%	16%	7%	3%	2%	7%

2021 年 入院延べ患者 診療科別

	消化器内科	循環器内科	整形外科	泌尿器科	神経内科	緩和ケア内科	合 計
患者数	15,202	9,460	703	281	627	3,939	30,212

2012 年～2021 年 一般病棟 平均在院日数

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
年間平均	19	16	20	13	21	16	12	13	14	14

2021 年 入院患者実人数 性別・年代別

年 代	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-99	100-109
女 性	3	7	12	25	66	114	177	213	101	8
男 性	8	3	9	32	62	134	172	121	42	0

2021 年 入院患者実人数 救急入院有無

救急車搬送有計	91	救急車搬送無計	1,218
救急医療入院 (緊急に入院が必要であると認めたもの)	65	救急医療入院 (緊急に入院が必要であると認めたもの)	197
予定入院	0	予定入院	397
予定外入院	26	予定外入院	624

2021 年 入院患者実人数 紹介歴有無

	消化器内科	循環器内科	整形外科	泌尿器科	外 科	緩和ケア内科
紹 介 歴 有	249	130	58	18	12	102
紹 介 歴 無	554	98	34	19	20	15

2021 年 入院患者実人数 疾患分類別

	消化器系	新生物	循環器系	内分泌系	呼吸器系	損傷等	腎尿路系	筋骨格系	他
患者数	549	251	120	76	70	68	63	32	80

2012 ～ 2021 年 D P C データ提出件数

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
提出件数 各様式計	1,075	1,105	1,241	1,351	1,406	1,656	2,130	1,958	1,939	1,931

2021 年 外来患者 郵便番号別（上位 40 件）

住 所	患者数	住 所	患者数
高知県高知市神田	3876	高知県高知市山ノ端町	402
高知県高知市上町	2885	高知県高知市八反町	360
高知県高知市福井町	1489	高知県高知市中万々	359
高知県高知市新屋敷	1029	高知県高知市城山町	358
高知県高知市鴨部	980	高知県高知市みづき	355
高知県高知市越前町	847	高知県高知市曙町	350
高知県高知市東石立町	707	高知県高知市東城山町	347
高知県高知市升形	671	高知県高知市西久万	326
高知県吾川郡いの町枝川	620	高知県高知市朝倉甲	310
高知県高知市小石木町	614	高知県高知市上本宮町	303
高知県高知市鴨部	600	高知県高知市春野町南ヶ丘	303
高知県高知市万々	562	高知県高知市井口町	302
高知県高知市長浜	559	高知県高知市棧橋通	301
高知県高知市南万々	507	高知県高知市横内	300
高知県高知市石立町	507	高知県高知市百石町	300
高知県高知市本町	504	高知県高知市瀬戸東町	296
高知県高知市朝倉丙	478	高知県高知市河ノ瀬町	290
高知県高知市桜馬場	451	高知県高知市南はりまや町	274
高知県高知市横浜新町	450	高知県高知市丸ノ内	274
高知県高知市旭町	418	高知県高知市高須	271

2021 年 診療情報提供 紹介医療機関等一覧（上位各 25 件）

医療機関等名称（紹介先）	件数	医療機関等名称（紹介受）	件数
高知赤十字病院	77	藤戸病院	166
高知医療センター	73	高知検診クリニック	157
近森病院	56	高知赤十字病院	74
高知大学医学部附属病院	55	高知医療センター	67
藤戸病院	41	高知大学医学部附属病院	62
国立病院機構 高知病院	29	近森病院	56
細木病院	9	国立病院機構 高知病院	51
須崎くろしお病院	9	くすのせクリニック	41
かもだの診療所	8	みちなか整形外科	36
あおぞら診療所高知潮江	7	塩見整形外科	34
ひまわり在宅クリニック	7	松岡クリニック	33
町田病院	7	クリニックグリーンハウス	29
島津病院	6	中内整形外科クリニック	28
内田脳神経外科	6	田村クリニック胃腸科内科	28
ひろせ整形外科リハクリニック	5	かわむらクリニック整形外科	24
愛宕病院	5	田中整形外科病院	19
朝倉病院	5	内田脳神経外科	19
いずみの病院	4	伊藤整形外科	18
こうち在宅医療クリニック	4	ひろせ整形外科リハクリニック	17
安岡眼科	4	リハビリテーション病院 すこやかな杜	16
塩見整形外科	4	玉木内科小児科クリニック	15
介護老人保健施設 あうん高知	4	細木病院	15
近森病院総合心療センター	4	よりみつ内科消化器科	14
高知記念病院	4	かもだの診療所	13
高知西病院	4	山村病院	13
総計 629 件		総計 1433 件	

2012 年～ 2021 年 クリニカルインディケーター（臨床指標）

指 標 名 称	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	算出 単位	分 子	分母
退院後42日内 の再入院率	8%	9%	9%	11%	11%	8%	7%	8%	12%	12%	年	退院後42日内 の再入院件数	退院 患者数
退院後42日内 の同一疾病再 入院率	3%	5%	4%	4%	3%	2%	2%	4%	2%	7%	年	退院後42日内 の同一疾病再 入院件数	退院 患者数
死 亡 退 院 率 （一般病棟）	4%	4%	2%	2%	3%	3%	2%	1%	2%	2%	年	死亡退院患者数	退院 患者数
緊急手術件数 率	22%	2%	9%	9%	15%	5%	6%	14%	7%	7%	年	緊急手術件数	手術 件数
24時間内の再 手術率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	年	24時間内の再 手術	手術 件数
サマリー2週 間内作成率	100%	100%	100%	99%	99%	99%	99%	99%	100%	99%	年	サマリー2週間 以降作成件数	作成 件数
病床稼働率	88%	92%	96%	92%	81%	90%	87%	86%	92%	81%	年	在院患者数	年間 病床数